



県庁ってどんなことしてるの？

私たちのくらしと栃木県政

まんが漫画で分かる!

どのような流れで

仕事が行われているんだろう？

AIなど最先端技術の高度化等により到来する、新たな社会Society5.0。この時代の変化に対応できる人材を育成するため、県がどう取り組んでいるかを例に、県政の動きをご紹介します。

新たな社会Society5.0の到来は、私たちに豊かさをもたらすとともに暮らしか働き方を変える…栃木県が時代に取り残されないように、何か対策を打たなくては！

未来を担う子どもたちには、ICTを使いこなして、新時代に対応し、たくましく生きていく能力が必要なのでは…？

文科省「GIGA スクール構想」提唱

教育のICT化に向け「1人1台の端末普及」「高速大容量の通信環境整備」など多様な子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現を目指します。

おや。国も本格的に計画を立てたみたいだ…

よし！県でも、目指す将来像に向けて計画を立てよう！

今後5年間に県が取り組む施策の進め方を示す県政の基本指針

とちぎ未来創造プラン

とちぎの未来を担う人材育成プロジェクト

- ✓新たな時代に対応した学びの推進と学校指導体制の整備
- ✓デジタル化に対応した資質・能力の育成

： (一部)

プランを実行するために、具体的にどんなことができるだろう…事業案を考えてみよう！

市町を通じて、小中学校の児童生徒には1人1台のパソコンかタブレットが配備されたね！

高校でも配備が進んできているし、県庁内に学校教育の情報化をより一層推進するためのチームを作ってはどうか…

市町間で教育格差が出ないように、県としてもしっかり取り組んでいかないとね

学校の先生向けの研修の実施など、教師のサポートも必要だね

ここまでのおさらい ① 課題の把握と検討

県では5年ごとに策定しているプランに基づいて、事業を行っています。事業の実施に当たって、まず本県の現状を分析し、課題を把握、そしてその課題を解決するために、県として何ができるかを検討します。

県民みんなのために何ができるか考えるま〜

知事！新しい事業案について説明します！

県庁内に新チームを立ち上げ、市町と連携して学校教育の情報化をより推進していきます！特に県立学校では「ICT支援員配置事業」により、民間企業と連携して学校にICT支援員を配置し、機器の設置や教師向けの研修などを積極的に実施します！

とても良い案だけど、この部分はこうした方がもっと良くなるのでは…栃木県の場合は、こちらのやりの方がより効果的だ…

知事

たしかに そうだなあ…

メモ

〇〇事業案

県議会議事堂

知事からの指摘を受け、まとめた事業案を議会へ

ここまでのおさらい ② 事業案の知事査定

事業をより効果的に実施するため、内容をよく吟味し、お金(予算)がどれくらい必要かを、県の財政状況を踏まえて検討の上、事業の目的や内容、予算額などを知事に説明して意見をもらいます。

こうして検討を重ねた事業案(予算案)を、議会に提出します。

事業の内容をよく検討するま〜

議会

県のお金(予算)の使い方が適切かどうか、判断します

これは具体的には何をやるの？

本当に効果はあるの？

これは継続的に行っていくべきだね

(議会の役割やしきみについては2面へ)

議会の議決を経て、使えるお金の額が決まります

ICT支援員配置事業費 95,040,000円 ※令和3年度当初予算額

いよいよ事業を行っていきます

栃木県の子どもたち 待っててくれ〜！

ここまでのおさらい ③ 議決を経て事業実施

県民から選挙で選ばれた県議会議員が、どのようなお金(予算)の使い方をすればよいかなどを議論します。議会で議決されることで、予算額が決定し、事業を実施することができるのです。

議会で議決されたら いよいよ事業実施ま〜！

実際にこんなしくみで動いています！

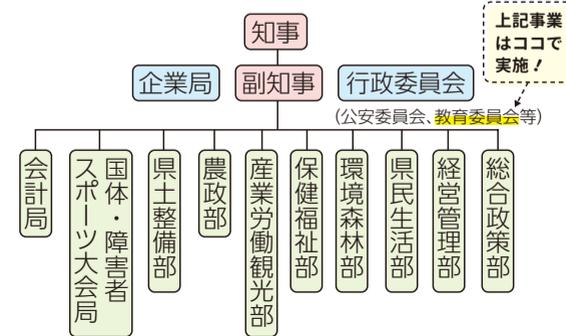
もっと詳しく▶

県の役割

日本全体のしくみに関するものを行う国に対し、県は市町の区域を越える県全体にわたる仕事を行っています。また、県・市町間の連絡調整や、県による実施がより効果的な仕事を市町や企業と連携しながら進めています。

県の組織

県の仕事を進めるため、知事の下に副知事2名を置き、10の部局と企業局、行政委員会を設置。各部局等で分担して仕事を行っています。職種は、行政のほか農業、総合土木、林業、保健師などさまざま。計23,584名(教職員、警察官等を含む)の職員が幅広い分野で業務に当たっています。(R3.4.1時点)



県議会って？選挙って？

知ってみよう！役割としくみ

1面では県政について特集しましたが、2面では「県議会」と「選挙」についてご紹介します。実は、皆さんもこの2つを通して県政に参加しています。どのように参加しているか、とちまるくと一緒に学んでみましょう。



県議会では何をしているの？

県民の代表として選挙で選ばれた県議会議員が集まり、栃木県をより豊かで暮らしやすい、魅力ある県にしていこうと話し合い、決めていきます。



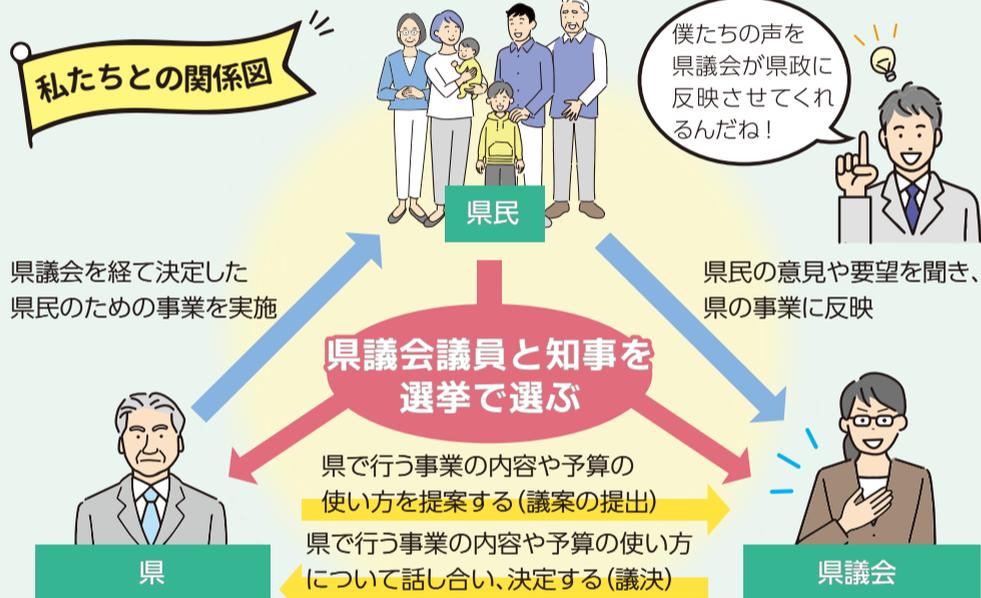
どのような流れで議案は審議される？

提出された議案はすぐ決定されるの？

内容をしっかり調べてから決定するまるよ!どんな流れか見てみるよ!

具体的にどのような仕事をしているの？

- 条例(県のルール)や予算などの決定
- 県民の要望などを聞く
- 県が正しく仕事をしているかの確認
- 副知事や監査委員など、県の重要な人事への同意 など
- 国の政策に対する意見書の提出



知事 議員

議案等を提出

本会議 全議員が出席して、提出された議案や県政についての質問を行います

委員会 少数に分かれて議案やさまざまな問題について詳しい審査を行います

本会議 委員会の報告を踏まえ、議案に賛成か反対か、多数決で決めます

議員による提案

議員が私たちの声を聞き、暮らしをより良くするための提案をしています

最新の議員提案による政策条例

- 栃木県犯罪被害者等支援条例
- 栃木県プラスチック資源循環推進条例

県議会でたくさん話し合いを重ねて決定するんだね!

議会の様子はここから見られるよ!ぜひ見てほしいまるよ〜

県議会ホームページ



選挙とは？

私たちのより良い生活のため、その思いを実現してくれる代表者を選ぶこと。日本国憲法には「国民権」という基本原理があり、政治は私たち国民が選んだ代表者たちによって行われています。



選挙の種類

- 国政選挙 国会を構成する衆議院・参議院の議員を選ぶ、2つの選挙があります
- 地方選挙 都道府県知事や市区町村長、都道府県や市区町村にある議会の議員を選ぶ、4つの選挙があります

自分一人が投票しなくても大丈夫？

でも、投票に行くのも面倒だし、自分一人ぐらい投票しなくても大丈夫じゃない?

いろいろな意見を政治に反映させるためにも投票は大切まるよ。投票しないとみんなの声が政治に届きにくくなってしまったりするよ

誰に投票する？情報収集をしよう!

よし、投票しに行くよ!でも誰に投票しようかな…

まずは情報収集をするまるよ!いろいろな視点や意見に触れることが大切まるよ

主な情報収集の方法

- インターネット
- 街頭演説
- 新聞・テレビ
- 政見放送

投票へ行こう!

投票は、投票日に決められた時間・場所で行います。これらは、お住まいの市町から届く「投票所入場券(はがき等)」に記載されています。期日前投票など、投票日以外にも投票できますので、忘れずに投票をお願いします。

みんなが良いと思える栃木県にするため、投票よろしくまるよ!

県選挙管理委員会Twitter

選挙に関する情報を発信中!ぜひチェックしてください

【問合せ】県議会事務局政策調査課 ☎028・623・3772

【問合せ】県選挙管理委員会 ☎028・623・2126